

成蹊学園のESD活動年次報告（2018年度）

1. サステナビリティ研究教育センターの活動概要

サステナビリティ教育研究センターは、2018年4月に開設され、組織として以下の進展があった。

1. ESD活動支援センターより地域ESD活動推進拠点に登録された（10月9日）
2. ユネスコスクールを支援するASPUivNetに登録された（12月12日）
3. 国立極地研究所と協定を結んだ（12月17日）
4. 6企業が賛助会員になった
5. 学校林を活用した森林環境教育促進のための助成を受けた

また、当センターが開設されたことで、省庁関係組織、ユネスコスクール関連校やその他の学校にも成蹊の活動が知られるようになり、新聞社等マスコミや学校からの問合せや訪問が多くなった。当センターの規則で定められた業務は以下の9項目である。

- (1) 持続可能な開発のための教育の普及啓発に関すること。
- (2) ESDに関わる人材養成に関すること。
- (3) ESDに関わる地域社会、国内外の機関等との連携に関すること。
- (4) 成蹊気象観測所その他ESDに関わるコンテンツの外部発信に関すること。
- (5) ESDに関わる学園及び学園が設置する各学校（以下「各学校」という。）が保有する観測データ、標本類等のアーカイブ化に関すること。
- (6) 地球環境、地域環境その他ESDに関わる研究の活性化に関すること。
- (7) 環境教育及び環境啓発活動に関すること。

(8) 各学校間のESD活動を通じた連携強化に関すること。

(9) その他学園及び各学校のESD活動及びESDに関わる研究活動の支援に関すること。

2018年度に実施した主要な活動を、上記のうちどの業務にあたるかの対応関係を示したのが、表1である。

当センターは、小学校から中学・高等学校、大学までの連携によって持続可能な開発のための教育（ESD）を学園ぐるみで進めるために開設された。世界のユネスコスクールのネットワーク（Associated Schools Project Network）に参画するとともに、さまざまな主体と連携して、教育・研究に取り組むことで、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に向けて貢献することを目指している。

センターが行う9業務はそれぞれ独立したものではなく、2018年度に行った活動の表が示す通り、1つの活動が複数の目的に対して関連づいている。また、それぞれの活動が相乗効果を生み出している。

一方、世の中においては、この1年間でSDGsの言葉が広く知られるようになった。企業がこの目標を掲げて活動し報告することは、社会からの信頼を得るための必須項目になってきている。また、大学をはじめとする教育機関の中には、SDGsを掲げることで学校のブランド力の向上に結びつけようという動きが出始めている。

成蹊学園の歴史ある教育は、まさにユネスコが推奨するESDそのものである。つまり、企業や他校が今から目指そうという活動を、成蹊は長い期間行ってきたのである。成蹊学園において、これが当たり前の活動になっていることは誇らしいことであると同時に、それを評価することは忘れ

表1 2018年度の主要活動内容

活 動 内 容	業務項目番号
センター設置初年度のため、教職員に対して「ESD」やセンターの活動と教職員の役割等についての理解推進のためにパンフレットを作成、配布	1,4,7
SD 研修会「これからの社会に必要なSDGsとは？教育機関や成蹊大学のESD活動とは？」講演（客員フェロー）	1,2
紀要発行準備	1,4,5,6,7,9
国立極地研究所とESD推進における包括連携協定を締結	1,3,6,7,8,9
地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）に登録	1,2,3
ASPUnivNet加盟、ユネスコスクール支援	1,2,3,
ESD成蹊フォーラム2018「武蔵野の自然と成蹊の学び」開催	1,2,3,4,5,6,7,8,9
「オーロラと宇宙」シンポジウム開催	1,3,4,6,7,8,9
中学生高校生シンポジウム「海を探る、海を調べる、キャリアと研究II」主催	1, 2,3,4,6,7
センターHP：各種イベント案内等22件のニュース、11件の活動報告を掲載し外部に発信	1,4,8
成蹊気象観測所HP：観測データの公開、『成蹊気象観測所報告』発行	1,4,5,6,7,8
「成蹊学園サステナビリティ大賞」募集	1,2,6,7,8
けやき循環プロジェクト	1,2,3,6,7,8
環境計測に基づく学園省エネルギー化プロジェクト	3,5,6,7
「むさしの環境フェスタ」出展	1,3,4,7
「エコプロ2018」出展	1,3,4,7
GTF グリーンチャレンジデー2018 in 新宿御苑で環境に関する企画に参加（学生）	1,2,3,7
国連グローバルコンパクト15周年記念大会で基調講演（学長）	1,3,4
第4回ユネスコスクール（ESD）神奈川県大会における講演（所長）	1,3,4
秋川流域ジオパーク推進会議事務局 あきりゅうジオの会講演会講演（所員）	1,3,4,6,7
成蹊小学校特別授業「地球と宇宙」実施	7,8,9
中学校理科野外観察会サポート（所員）	7,8,9
成蹊小学校6年生理科校外学習「地層観察と化石採集」サポート（所員、学生）	2,8,9
成蹊オープンゼミ『中学3年生×大学ゼミ体験』『法律は環境を守るか？』（所員）	7,8
環境水族館福島海洋科学館 第2回Happy Oceans「豊かな漁場 福島沖の大陸棚と深海」講演（客員フェロー）	3,4,6,7
一般財団法人東京私立中学高等学校協会主催 東京私立中学合同相談会 小学生保護者参加型 教育ワークショップ「海洋調査船の研究航海ってどんなもの？」講演（客員フェロー）	3,4,6,7
ESD活動支援センター主催 国際セミナー「アジア太平洋地域のESDの展開とSDGs達成にむけての諸課題」共催	1,2,3
日本ESD学会第1回大会参加（副所長、所員）	3
ESD推進ネットワーク全国フォーラム2018参加（所長）	3
平成30年度地域ESD拠点等の意見交換会参加（所長）	3
関東ESD推進ネットワーク第2回地域フォーラム「地域でSDGs！」参加（所長、副所長）	3
日本学術会議フューチャーアースの推進と連携に関する委員会主催「FUTURE EARTHと学校教育：ESD/SDGSをどう実践するか」ワークショップ報告（副所長）	3
成蹊中学・高等学校生物科家庭科特別講義「深海魚に触れて、観察して、作って、食べよう」講演（客員フェロー）	7,9
成蹊中学校中学生を対象としたNPO法人気象キャスターネットワーク環境省主催の出前授業「地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし」実施	7,9
成蹊高等学校高校生を対象としたJOGMEC金属資源講話実施	2,9

られがちである。現在、成蹊学園のESD活動が、学外から高い評価を受け、問い合わせや取材が増えている一方で、学内での自己評価がまだまだ低い。従って、自分たちが行っているESD活動の価値を誰もが意識できるようにすることは、当センターの今後の課題であると考えている。

2018年度は、ユネスコスクール申請手続きがなかなか進まなかったが、2019年度は本申請手続きに入ると思われる。成蹊学園がユネスコスクールに認定された際には、あらためて成蹊学園のESD活動、SDGsに関わる評価等を学内にも広報していきたい。これに先駆け、成蹊大学ではユ

ネスコスクールを支援する大学間ネットワークであるASPUivNetに加盟し、2019年度は関東地区の他3大学との共催で、ユネスコスクール関東ブロック大会を開催する予定である。また、大学インパクトランキングにおいても、実態に合った高い評価を得られるよう、発信していきたい。

2. サステナビリティ教育研究センター主催・後援・参加のイベント等

成蹊学園サステナビリティ教育研究センター開設記者説明会(2018年3月27日、於・成蹊サテライト・オフィス、有楽町国際ビルディング)企画室広報グループ主催。大場繁小学校長、跡部清中学・高等学校長、北川浩大学長、池上敦子所長、小田宏信学長補佐(副所長)が出席。

ESD成蹊フォーラム2018「武蔵野の自然と成蹊の学び」(2018年4月1日、於：大学6号館301教室)当センター主催、後援：日本ユネスコ国内委員会、武蔵野市、武蔵野市教育委員会、ESD活動支援センター、関東地方ESD活動支援センター、持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)。本誌本巻に活動報告を掲載。

第1回成蹊学園サステナビリティ大賞の募集と表彰 2018年10月1日より2019年1月30日までの3か月間を募集期間とし、所員の投票によって審査を進め、2月20日に開催された所員会議で受賞対象を決定した。受賞者には2019年4月7日に開催されたESD成蹊フォーラム2019にて表彰を行なった。受賞者は表2の通り。

第11回むさしの環境フェスタ(2018年11月11日、於：武蔵野クリーンセンター) 主催：武蔵野市環境部環境政策課。ブース出展において、成蹊学園のESD活動のパネル展示とダジックアースのデモンストレーション展示を行った。

エコプロ2018「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」(2018年12月6～8日、於：東京ビックサイト)大学・教育機関コーナーにて、成蹊学園のESD活動に関するブース展示を実施した。

国立極地研究所との包括的連携協定締結(2018

年12月17日、於・学園本館302会議室)国立極地研究所中村卓司所長、情報・システム研究機構本部事務局立川共通事務部松尾淳部長、亀嶋庸一学園長、池上敦子所長、小田宏信副所長の5名の出席により協定書への署名が行われた。署名式後、記者会見を実施した。

中学生高校生シンポジウム「海を探る、海を調べる、キャリアと研究II」(2019年2月1日、於：国立科学博物館)対象：全国の中学1年生～高校3年生、主催：当センター、海洋生物学アウトリーチ研究会、共催：国立科学博物館、後援：自然史学会連合協賛：日能研、コンビナー：猿渡敏郎客員フェロー、池上敦子所長。

武蔵野ふるさと歴史館ワークショップ「雪の結晶を作って撮影してみよう」(2019年2月2日、於：武蔵野ふるさと歴史館)講師：宮下敦所員、対象：市内在住・在学の小学校4年生～中学校2年生、30名。共催：武蔵野市教育委員会、当センター。

「オーロラと宇宙」シンポジウム(2019年2月15日、於：学園本館大講堂)講師：斉藤昭則氏(京都大学地球物理学教室)、江尻省氏(国立極地研究所・第58次南極地域観測隊員)、片岡龍峰氏(国立極地研究所)、藤原均所員。主催：当センター、協力：国立極地研究所。

生物観察会「むさしの鳥・蝶しらべ 冬の鳥を観察しよう」(2019年2月16日、於：大学構内)参加：市内在住・在勤・在学の39名(引率者含む)。観察リーダー：日本獣医生命科学大学バードウォッチングサークル「カントリー」、主催：武蔵野市環境部環境政策課、後援：当センター。

消費者教育セミナー「消費者の賢い選択に向けて 私たちができること」(2019年2月25日、於：大学10号館大会議室)元ユニー株式会社顧問、百瀬則子氏による講演。主催：ESD活動支援センター、共催：当センター

国際セミナー「オーストラリアにおけるESDの現状、アジア太平洋地域におけるSDGsとESDの更なる展開等について」(2019年2月25日、於：大学10号館大会議室)オーストラリアの

表2 成蹊学園第1回サステナビリティ大賞受賞一覧

	申請代表者(敬称略)	申請団体	活動の概要
サステナビリティ大賞 (環境リサーチ賞)	小学校 内川 健	5年生	小学5年生が作成した環境地図
サステナビリティ大賞 (復興支援賞)	高校 伊藤 美輝	生徒会震災復興 パート	岩手県「田老」地区の復興支援
サステナビリティ大賞 (学術研究賞)	高校 長谷川千紗	生物部イワナ班	北海道余市川における外来魚ニジマスと、在来魚オシロコマ、アメマス、ヤマメとの関係を知るために分布調査、非生物的環境要因測定、形態的特徴、摂餌生態、成長、水槽内での行動実験等の実施
所長賞 (エクセレント視点賞)	小学校 齋藤 倅羽		成蹊けやき並木のうつりかわりと自分の成長の記録
所長賞 (ダイバーシティ賞)	高校 椎名 悠太	スクール・ダイ バーシティ	スクール・ダイバーシティの活動
所長賞 (地域ネットワーク賞)	大学 阪本 昂大	体育会水泳部	成蹊大学体育会水泳部として、武蔵野市主催「Sports for All 水球」の企画・運営及び武蔵野市立小学校へのオリンピック・パラリンピック教育への授業サポートを通して子供たちにスポーツの振興を促し、健康活動促進のサポートを行う
観察賞	小学校 五條 耀		祖父母宅での果物の収穫と調理
環境問題検討賞	小学校 時野谷 朔		ゴミを減らして地球を守っていくために、ぼくらはどうしたらいいか?を考えた活動
環境保護賞	小学校 轟 莉央		アメリカザリガニと池の環境についての取り組み
緑化賞	小学校 宗像 泰大		栃木県足尾銅山での植樹
SDGs 賞	小学校 山本 剛大	5年北組13名	小学5年生が世界のSDGsについて調べた文化祭での発表
企画賞	中学校 小川 りさ	成蹊インターナ ショナルアライア ンス	映画監督である Linda Ohama さんの英語講演会の開催
学術研究賞	高校 前田ちひろ		ヘビ毒を用いたアルツハイマー型認知症の治療の検証計画
アイデア提案賞	高校 山口 結己		SDGsについて学ぶプログラムに参加した時の「持続可能な開発目標に貢献するための私のアイデア」についての発表
国際活動賞	大学 廣瀬 真由		日独学生青年リーダー交流事業に参加し、「若者の社会参画」というテーマで取り組んだ活動
国際問題議論賞	大学 栗原 啓吾	学生ボランティア 本部 Uni. 国際チ ーム	国家間の貿易を通して経営の疑似体験を行う貿易ゲームを実施して、各国の貿易格差を学びディスカッションを行う
地域支援賞	大学 栗原 啓吾	学生ボランティア 本部 Uni. 地域チ ーム	吉祥寺「ふれあい夏祭り」での運営補助と、屋台の売上金の全額募金
アート賞	大学 栗原 啓吾	学生ボランティア 本部 Uni. 東北プロ ジェクト	福島県石川町で子供達に向けて手形アートワークショップの開催

RMIT 大学の Jose Roberto Robbie Guevara 氏による講演と意見交換会。主催：ESD 活動支援センター、共催：成蹊学園サステナビリティ教育研究センター。

公開シンポジウム「地図と写真から見る吉祥寺の移り変わり」(2019年3月16日1、於：大学6号館 301教室) 第1部は講演2本(小田宏信

副所長「古地図から見る吉祥寺発展史」、見城武秀所員「写真を通して見る吉祥寺の再開発」)、第2部では吉祥寺今昔写真館委員会からパネリストを迎えての討論会が開催された。主催：成蹊学園史料館、協力：吉祥寺今昔写真館委員会、成蹊学園サステナビリティ教育研究センター。

3. センター所員・客員フェローによるESD に関わる講演・出張授業等

成蹊学園史料館企画展「成蹊気象観測所90年の歴史とESD活動」(2017年10月～2018年9月) 宮下敦所員(理工学部教授)と小田宏信副所長(経済学部教授)が展示素材の提供を行った。

公益財団法人ふくしま海洋科学館「第2回 Happy Oceans: 豊かな漁場 福島沖の大陸棚と深海」(2018年4月28日) 客員フェロー猿渡敏郎氏が講演「いわき市の魚メヒカリは美味しい深海魚。深海の幸の謎に迫る。」を行った。

秋川地域ジオパーク推進会議事務局あきりゅうジオの会講演会(2018年7月18日)「日本列島の形成と関東山地の付加体」というテーマで、成蹊大学の宮下敦所員(理工学部教授)が講演。
学び体験フェア・マナビゲート(2018年8月18日、於:東京国際フォーラム) 主催:NPO法人学びの支援コンソーシアム、小・中学生対象。藤原均所員(理工学部教授)がブース「地球と宇宙の環境の不思議を知ろう!」を出展し、地球と宇宙に関するパネル展示、分光器製作のワークショップを実施した。

成蹊学園史料館企画展「吉祥寺と成蹊の100年～写真と古地図で振り返るその歩み～」(2018年10月～2019年9月) 見城所員(文学部教授)と小田副所長(経済学部教授)が展示素材の提供を行った。

武蔵野市立第三小学校出張授業(2018年11月22日、27日) 宮下所員(理工学部教授)により6年生対象とした理科「土地のつくりと変化」の単元に関する授業実施。

第4回ユネスコスクール(ESD)神奈川県大会(2018年12月15日) シンポジウム「ユネスコスクールにおけるESDと地球市民教育の対話と統合」のパネラーとして池上所長(理工学部教授)が登壇。

日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会主催公開ワークショップ「FUTURE EARTHと学校教育:ESD/SDGsをどう実践するか」(2019年1月22日) 小田副所

長が「小中高大でESDを実践する」というテーマで話題提供。

4. けやき循環プロジェクト

プロジェクトメンバー

(学 園) 高橋 章建*	財務部部長
吉田 昌弘	管財課
平林 くみ	企画室
(大 学) 川村 陶子	文学部教授・所員
長橋 典子*	研究助成課
田口利佳子	学生生活課
(小学校) 荻野 雅*	小学校教頭
鈴木 宏明	小学校教諭, 所員
宮下 浩	小学校教諭, 所員
山本 剛大	小学校教諭, 所員
畝田慎一郎	小学校事務室事務長
山下 雅人	小学校事務室

(*:各職域リーダー)

年間作業暦

- 4月11日 堆肥切り返し作業(小学校)。
- 4月24日 堆肥切り返し作業(小学6年生)。
- 5月16日 堆肥切り返し作業(小学6年生)。
- 6月3日 成蹊学園 地域清掃活動×ごみゼロデー。
- 6月5日 当該期の堆肥づくり最終切り返し(小学校「桃の会」環境委員)。
- 6月7日 このはな小路に植栽されたソメイヨシノの枝葉の剪定作業(こみち科の授業での染色素材への活用)。
- 8月26日 武蔵野ふるさと歴史館主催「色が変わるランプを作ろう!!」。
- 9月7日 堆肥すき込み作業(小学校)。
- 10月4日 プランター植栽活動。
- 10月11日 地域清掃活動(雨天のため中止)。
- 11月27日 落葉集め(小学4-6年生+大学生)。
- 11月30日 落葉集め(大学生)と焼芋(小学4年生, 5年生+大学生)。
- 12月3日 落ち葉集め(小学1年生+大学生)。
- 12月6日 成蹊学園地域清掃活動×けやき循環PJ(コラボ企画であったが, 雨天のため中止)。
- 12月14日 焼芋(小学1年生+大学生)。

12月21日 平成30年度学校林を活用した森林環境教育促進事業助成決定。

1月8日 馬糞堆肥の材料調達(於:学園馬場)。5年北組児童が参加。

1月11日 堆肥作り講座(5年生)。講師:鴨志田農園(三鷹市上連雀6丁目)の鴨志田純氏。5年生児童が参加。

1月12日 「松林で学ぼう親子自然教室(賛助会員支援イベント)」。1年生児童の親子16組が参加。午前:鴨志田純氏の指導の下、堆肥の仕込み。午後:都市養蜂家金子裕輝氏によるワークショップ。

1月18日 第1回堆肥切り返し作業。5年南組、東組の児童が参加。

1月25日 第2回堆肥切り返し作業。

2月6日 第3回堆肥切り返し作業(小学校5年生)。

2月21日 第4回堆肥切り返し作業(小学校5年生)。

3月12日 第5回堆肥切り返し作業(5年西組、学生ボランティア本部Uni.)。

3月22日 プランター植栽活動(於:大学4号館横広場)。

5. 環境計測に基づく学園省エネルギー化プロジェクト(略称:BEMSプロジェクト)

プロジェクトメンバー

(学 園)	小泉 一将	管財課長
	加賀美佳秀	管財課
(大 学)	小川 隆申*	理工学部教授
	西尾 悠	理工学部助教
	理工学部・研究科	流体力学研究室学生
	小田 宏信	経済学部教授
	財城真寿美	経済学部准教授
	経済学部財城ゼミ	学生
	細本有理子	図書館事務室事務長
	園部 裕元	図書館事務室
(企 業)	岡澤 岳	清水建設(株)
	陰山 恭男	清水建設(株)
	秋本 大輔	清水建設(株)

(*:プロジェクトリーダー)

活動概要

2017年度から学園に置いてBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を導入したことにより、学園内全ての建物の消費電力量、気温などがリアルタイムでデータ収集できるようになり、学園全体の消費電力のプロファイルと外気温や建物運用状況との相関なども把握できるようになった。さらに、こうしたマクロ的な分析だけでなく、昨今のIoT機器を利用することにより、建物内部物理量分布などミクロな計測も容易に実現できるようになってきている。成蹊学園で導入したBEMSを用いて学園全体の消費電力特性を把握すると同時に、学園内の建物として最大の電力を消費している情報図書館を対象に、環境計測結果に基づいた省エネルギー化に取り組んだ。具体的には、図書館内に多数のセンサーを設置して詳細な温熱環境を長期的に計測し、消費電力との相関からより効率的な空調などの運用方法を提案した。さらに、それを実際に運用し、その効果を検証した。本プロジェクトの活動期間は2018年9月～2019年3月末までであった。

6. 成蹊小学校におけるESDの取り組み

堆肥づくりに関しては「けやき循環プロジェクト」の項を参照。以下はそれ以外の行事を取り上げる。

5月11日 社会科見学「武蔵野クリーンセンター」(4年生)

6月7日 こみち科授業「梅ジュース」作成/梅の実取り

6月7日 こみち科授業「サクラの枝葉で染物」/サクラ枝葉の回収

6月11日 社会科見学「日産追浜工場、花王川崎工場」(5年生)

6月12日 社会科見学「加曾利塚、歴史民俗博物館」(6年生)

6月12～15日 夏の学校。箱根(2年生)。

6月12～16日 夏の学校。房総白浜(4年生)。

6月18日 こみち科授業「桃ジャム」作成/桃の摘果

6月29日、7月6日 オーストラリア体験学習発

表会

- 7月28日～8月5日 オーストラリア体験学習(6年生).
- 7月12～14日 夏の学校. 箱根(1年生).
- 7月16～21日 夏の学校. 浅間山・志賀高原(5年生).
- 7月17～21日 夏の学校. 箱根(3年生).
- 7月18～23日 夏の学校. 千葉県南房総市の岩井海岸(6年生).
- 9月6日 「SDGsを『知る』から『行動する』へ」5年生対象のワークショップ(都立武蔵高等学校附属中学校山藤旅聞氏)
- 10月18日 社会科見学「サンロード商店街」(3年生)
- 10月25日 化石採集(6年生, 理工学部と連携)
- 10月28日 「第28回私たちの身のまわりの環境地図作品展」にて国土交通省国土地理院長賞, 日本地図学会会長賞, 優良賞(5名), 努力賞(2名)を受賞
- 1月11日 理科野外観察会(天体観望会)
- 2月13日 国際理解プレゼンテーション(4年生国際学級)

7. 成蹊中学・高等学校のESDの取り組み

- 通年活動 スクールダイバーシティ「ダイバーシティ通信」+ブログ(高校生徒会, 久保田教諭)
- 4月11日 たけのこ掘り 於:HR棟前竹林(中学家庭科)
 - 4月28日 スクールダイバシティ上映会「コール・ミー・クチュ」
 - 4月29日 理科野外観察会多摩川(中学)
 - 5月6～7日 スクールダイバシティ, 東京レンボープライド参加
 - 6月20日 成蹊中学・高等学校生物科家庭科特別講義「深海魚に触れて, 観察して, 作って, 食べよう」(猿渡敏郎客員フェロー)
 - 6月24日～ チョート・ローズマリー・ホール校(Choate Rosemary Hall)でのサマープログラム
 - 7月1日～ フィリップス・エクセター・アカデミー校(Phillips Exeter Academy)でのサマー

プログラム

- 7月7日 第1回セントポールズ校・チョート校留学報告会
- 7月10日 中高ストリングス部ボランティア演奏会 関町カトリア幼稚園
- 7月16日 大学の「人権とジェンダー」の授業で「スクール・ダイバーシティ」活動を行っている高校生達によるトークライブ(久保田教諭)
- 7月16～20日 高校エンパワーメント・プログラム, 中学プレエンパワーメント・プログラム
- 7月17日～8月5日 ケンブリッジ短期留学(高校)
- 7月19日 米エクセター高によるハークネス授業(高校)
- 8月22日～9月1日 第2回北欧短期研修(高校)
- 9月5日 「第19回高校生国際美術展」秀作賞受賞(高校生)
- 9月22日 桃Re(とうり)プロジェクト(赤い椅子)ワークショップ開催(蹊祭実行委員会)
- 10月7日 「2018年日本魚類学会年会(50周年記念大会)中学生・高校生研究発表会」優秀研究賞受賞(成蹊高校生物部イワナ班)
- 10月8日 武蔵野市主催「Sports for all 水球」イベントサポート(高校水泳部, 大学水泳部連携)
- 10月26～27日 デンマーク王国私立伝統校ルンステッド高校生徒訪問
- 11月1日 ダイバシティトークライブ「変な人になってみた!創造性とダイバシティ/オタクとスクールカーストIV」
- 12月20日 「2018年度国際教育センター 国際研究賞(調査賞)・国際交流賞」受賞(高校1～3年生)
- 1月11日 理科野外観察会(天体観望会)
- 1月13日 日本生物教育学会第103回全国大会にて高校生物部が優秀賞受賞
- 1月28日 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構「金属資源講話」(高校生対象, 世話人:宮下所員)
- 1月31日 NPO法人気象キャスターネットワーク・環境省主催出前授業「地球温暖化の最新情報・未来の地球と私たちの暮らし」(中学生対象,

世話人：宮下所員)

8. 成蹊大学におけるESDの取り組み

- 4月11日 成蹊大学, アトレ吉祥寺, ネクストローカル地域活性化を目指す継続的な協力体制の構築を目的に連携協定締結
- 5月16日 文学部「国際文化研究の現在」にて出張講座「オリンピックと政治・外交」元駐ギリシア大使, 日本オリンピックアカデミー理事, 望月敏夫氏(文学部竹内敬子教授)
- 5月24日 ワークショップ「貿易ゲーム」(ボランティア本部 Uni. 国際チーム)
- 6月1日 成蹊大学と島根県立大学・同短期大学部との教育・研究面における包括連携協定締結
- 6月11日 全学共通科目「人権とジェンダー」における「デートDV出前講座」(成蹊大学・武蔵野市企画運営委員会共催, 文学部竹内敬子教授)
- 6月13日～ 2018年度東京オリパラプロジェクト ルーマニア交流事業スタート
- 6月14日 講演会「現職大使, キューバを語る—日本人キューバ移住120周年—」(在キューバ特命全権大使, 渡邊優氏, 主催: 成蹊大学, 後援: 外務省)
- 6月19日 大学構内でブラインドサッカー体験会, みかづき子ども食堂(研究ブランディング事業)
- 6月29日 香港の順徳聯誼總會梁録琚中学5年生による大学見学
- 7月5日 異業種交流イベント「第10回TAMACOM」(於・三鷹産業プラザ, 主催: 三鷹商工会・三鷹ICT事業者協会, 武蔵野商工会議所サービス業部会 ICT研究会, 後援: 成蹊大学. 協定留学生および経済学部生がボランティア参加)
- 7月16日 成蹊教養カリキュラム「人権とジェンダー」の授業で「スクール・ダイバーシティ」活動を行っている高校生達によるトークライブ(文学部竹内敬子教授)
- 7月18日 ESD活動の専門家を招聘してのSD研修会(企画運営部庶務運営課主催, 講師: 鈴木克徳客員フェロー, 小金澤孝昭客員フェロー)
- 7月21日 文学部「コミュニティ演習」の成果報告会「武蔵野アール・ブリュット2018」
- 7月21日 文学部レクチャー・コンサート「アンデス音楽の伝統と前衛」(文学部細谷広美教授)
- 7月22日 ルーマニアのブラショフ市「日本武蔵野センター」研修生との交流会(鎌倉散策・ルーマニア交流事業学生スタッフ)
- 7月23日 ゲスト講義「ドゥテルテ政権下におけるフィリピンの外交政策—台頭する中国に対する宥和政策の追求における課題」デラサール大学教授レナート・クルース・デカストロ氏(文学部墓田ゼミ)
- 7月25日 「アトレのはたけ」で収穫したじゃがいものケーキを吉祥寺フェスタで販売(経済学部小田ゼミ)
- 7月26～27日 吉祥寺ふれあい夏祭り運営補助(ボランティア本部 Uni.)
- 7月29日 「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」2018年オープニング・ツアー招待参加(文学部細谷広美教授)
- 8月2日 ルーマニアのブラショフ市「日本武蔵野センター」研修生との料理交流会(ルーマニア交流事業学生スタッフ)
- 8月4～7日 島根県立大学総合政策学部井上ゼミとの津和野・柿木合同合宿(経済学部小田ゼミ)
- 8月28日 ドイツ・ユネスコ委員会訪問(川村陶子所員)
- 9月1日 学生中心のオリパラボランティアチーム「オリンピズム」本格始動
- 9月3～5日 「STEシミュレーション研究会」プラズマー大気複合システムのシミュレーション研究(藤原均所員)
- 9月6日 教職科目「地学実験」における国立極地研究所・統計数理研究所見学(藤原均所員)
- 9月7日 教職科目「地学実験」における情報通信研究機構見学(藤原均所員)
- 9月7～9日 島根県立大学短期大学部ダスティン・キッドゼミとの合同ゼミ合宿(文学部有富

- ゼミ)
- 9月14日 観光庁・JTB主催「大学生観光まちづくりコンテスト」多摩川ステージJTB賞受賞（経済学部井出ゼミ）
- 9月23日 福島県石川町での子供向け手形アートワークショップ（ボランティア本部Uni.）
- 9月29日 「GTFグリーンチャレンジデー2018 in 新宿御苑」にて、「つなげよう、支えよう森里川海」ブースに参加（教職課程学生）
- 10月8日 武蔵野市主催「Sports for all 水球」イベントサポート（体育会水泳部。高校水泳部と連携）
- 10月12日 島根県立大地域貢献推進シンポジウム「目覚める地域の可能性—島根県立大学と『地域おこし協力隊』—」にて発表（経済学部小田ゼミ）
- 10月14日 第2回成蹊大学研究ブランディング事業シンポジウム「地域共生社会への道すじ」
- 10月19日 移民及び異なる文化的背景をもつ人々がともに暮らす社会について実践的に考えるプロジェクト型授業の一環で群馬県邑楽郡大泉町においてフィールドワーク実施（文学部細谷ゼミ）
- 10月21日 アトレ吉祥寺「駅フェスタ」にて島根県吉賀町柿木村産の有機栽培農産物の販売（島根県立大学・成蹊大学合同プロジェクト、経済学部小田ゼミ）
- 10月25日 成蹊小学校の化石採集の補助員（理工学部モデリング&アルゴリズム研究室）
- 11月8日 ルーマニア交流事業学生スタッフ活動報告会
- 11月26日 留学生・近隣在住外国人対象「Bilingual Kabuki Workshop（日英二か国語による歌舞伎ワークショップ）」（文学部日比野啓教授）
- 11月29日 異業種交流イベント「第11回TAMACOM」（於・三鷹産業プラザ、主催：三鷹商工会・三鷹ICT事業者協会、武蔵野商工会議所サービス業部会 ICT研究会、後援：成蹊大学、協定留学生および経済学部生がボランティア参加、経済学部小田ゼミ3年生が「地域連携による商品開発実践——アトレ吉祥寺店との『食の地域活性化プロジェクト』をショートプレゼン）
- 12月3日 ゲスト講義「ハンガリー：欧州連合、ヴィシエグラード4か国、移民問題」ハンガリー外務貿易研究所ラズロ・ヴァサ教授（文学部墓田ゼミ）
- 12月6日 ゲスト講義「国連による紛争管理：アフリカの事例」内閣府国際平和協力本部事務局西村正二郎研究員（文学部墓田ゼミ）
- 12月7日 武蔵野市主催イベント「知ってみルーマニア第2弾 ルーマニア魅力発見」活動発表（ルーマニア交流プロジェクト）
- 12月11日 シェルブレア・ミハエラ先生による簡単ルーマニア語講座&講演会（第1回）
- 12月18日 全学教育科目「武蔵野地域連携セミナー（吉祥寺ツアープログラム開発）」の最終発表（経済学部伊藤克容教授）
- 12月24日 国際コース「World Sports」特別講座テーマ「オリンピックと報道」流通経済大学スポーツ健康科学部藤原庸介准教授（法学部境広志教授）
- 1月16日 シェルブレア・ミハエラ先生による簡単ルーマニア語講座&講演会（第2回）
- 1月18日 文学部現代社会学科「メディア・リテラシー演習」にて「吉祥寺と文化」をテーマにして受講生の制作した映像作品発表会（文学部見城武秀教授）
- 1月20日 「ホストタウン交流フェス Sports for All ルーマニア・パラ」出展（ルーマニア交流プロジェクト）
- 1月23日 吉祥寺ハニカムプロジェクト—都市養蜂家金子裕輝氏をお招きした講演会—（地域連携・地域貢献推進委員会、当センター共催）
- 3月23日 島根県立大学関係者による石見神楽公演（島根県立大学の学生を中心とした「舞濱社中」、現地の伝統的社中である「宇野保存会」のメンバーによる演舞、主催：成蹊大学、島根県立大学・島根県立大学短期大学部、於：大学4号館ホール）

9. サステナビリティ教育研究センター構成員

2018年12月1日現在

所長

池上 敦子 大学教授（理工学部）

副所長

小田 宏信 大学教授（経済学部）

所員

武田真一郎 大学教授（法科大学院）

渡邊 知行 大学教授（法科大学院）

財城真寿美 大学准教授（経済学部）

藤原 均 大学教授（理工学部）

宮下 敦 大学教授（理工学部）

川村 陶子 大学教授（文学部）

見城 武秀 大学教授（文学部）

光田 剛 大学教授（法学部）

荒井 靖志 中学・高等学校教諭

田中 博春 中学・高等学校教諭

保母 禎造 中学・高等学校教諭

宮本 浩司 中学・高等学校教諭

楊 彬 中学・高等学校教諭

横井 亮 中学・高等学校教諭

内川 健 小学校教諭

大久保遥峰 小学校教諭

鈴木 宏明 小学校教諭

林田 真治 小学校教諭

宮下 浩 小学校教諭

山本 剛大 小学校教諭

客員フェロー

池口 仁 山梨県富士山科学研究所主任研究員

板谷 徹丸 NPO 法人地球年代学ネットワーク
理事長

上杉 邦憲 国立研究開発法人宇宙航空研究開発
機構（JAXA）名誉教授

上野 玄太 データサイエンス共同利用基盤施設
教授

梅田 幸治 大阪大学医学部附属病院特任研究
員，大阪大学招聘教授

大野ゆう子 大阪大学大学院医学系研究科教授

落合 利穂 サノフィ・アベンティス（シンガ
ポール）

片岡 龍峰 国立極地研究所准教授

河口真理子 大和総研調査本部研究主幹

倉茂 好匡 滋賀県立大学副学長

小金澤孝昭 宮城教育大学名誉教授

小森 次郎 帝京平成大学環境情報学研究科准
教授

齊藤 昭則 京都大学大学院理学研究科准教授

佐藤 克士 武蔵野大学教育学部専任講師

佐藤 禎一 元日本政府ユネスコ代表部特命全
権大使

猿渡 敏郎 東京大学大気海洋研究所助教

鈴木 克徳 ESD 活動支援センター副センター
長

高橋珠州彦 明星大学教育学部准教授

多田 孝志 金沢学院大学文学部教授

田辺 隆人 株式会社NTT データ数理システム
取締役，数理計画部部长

土谷 隆 政策研究大学院大学政策研究科教
授

寺本 潔 玉川大学教育学部教授

中江 雅典 国立科学博物館研究主幹

中村 卓司 国立極地研究所長

坂 茂 建築家

三上 岳彦 首都大学東京名誉教授

村上 清明 三菱総合研究所常務研究理事

山村紳一郎 サイエンスライター

ブルノ フィゲラ ローレンソ 東京大学大学
院情報理工学系研究科助教

賛助会員

清水建設株式会社 LCV 事業本部

株式会社紀伊国屋書店

株式会社アトレ

株式会社オクトーバー・スカイ

日精株式会社

株式会社ネクストローカル

事務局

大越健次郎 企画室経営企画グループ長

平林 くみ 企画室経営企画グループ

外口 美幸 企画室経営企画グループ